

ArcIMS レイヤの検索と利用



WMS レイヤと同じように、TNT 製品での ArcIMS (Arc インターネットマップサーバ) からの地図や画像レイヤの選択、表示も 2 段階で行います。ステップ 1 では、ネットワーク上でレイヤを公開しているサービスを選択します。選択には < ArcIMS サービスの選択 (ArcIMS Service Selection) > ウィンドウを使います。ステップ 2 では、選択した ArcIMS サービスが提供するレイヤから見たいものを選びます。このステップでは < ArcIMS Service レイヤコントロール (ArcIMS Service Layer Controls) > ウィンドウを使います。このウィンドウでは、選択したレイヤや透明度などの ArcIMS 固有のパラメータをコントロールできます。いずれのステップでもあなたのコンピュータと ArcIMS サービス間で通信が行われるため、インターネットまたは他のネットワークに接続している必要があります。ArcIMS のレイヤ表示が上手く行くかどうかは、接続性にかかっています (テクニカルガイド「空間表示：表示する ArcIMS レイヤの選択・表示 (Spatial Display: Select ArcIMS Layers for Viewing)」参照)。

ArcIMS サービスの選択

< ArcIMS サービスの選択 > ウィンドウには、[最近の閲覧 (Recent)]、[お気に入り (Favorites)]、[カタログ (Catalogs)]、[検索 (Search)] の 4 つのタブパネルがあります。ArcIMS レイヤを初めて追加する場合、[カタログ] パネルが前面に出ます。

[カタログ] パネル ArcIMS のカタログは XML ファイルであり、一般の Web サーバで利用できる ArcIMS を一覧表示します。マイクロイメージが提供しているカタログ一覧から、参照レイヤとして使用できる ArcIMS 素材を見つけることができます。[カタログ] パネルには最初有名なカタログ名のみが一覧表示されており、この段階ではインターネット通信はしません。カーソルをこの一覧のカタログの上に置くと、URL や概要を表示することができます。マイクロイメージ社が提供しているこの 2 つのカタログには、Web 検索で見つかる全ての ArcIMS が含まれています。2 つのカタログのうち一方はアルファベット順で並んでおり、もう一方は ArcIMS サーバが提供しているサービスの数で並んでいます。カタログ名の左にある + 印をクリックしてカタログ名を広げると、TNT はカタログを開く前にカタログの発行元の Web サイトにその内容を問い合わせます。応答を受信すると、選択したカタログ内に索引付けされた全ての ArcIMS サービスが一覧表示されます。その中の 1 つをクリックすると、選択した特定の ArcIMS サービスに対して様々な情報 (利用できるレイヤやその地理範囲、サポートされている座標参照系など) の要求を開始します。この 2 回目の応答を受信すると、ArcIMS の URL と名前がウィンドウの下に表示されます。[OK] ボタンがアクティブになり、< ArcIMS Service レイヤコントロール > ウィンドウが開いて ArcIMS サービスから表示ウィンドウに追加したいレイヤを選択できるようになります。

カタログ

ArcIMS サービスを提供している Web サイト

ArcIMS サービス

ArcIMS サービスの選択前 (URL が未指定)

ArcIMS サービスを選択して応答を受信するまで、[OK] ボタンはアクティブになりません。

`http://www.microimages.com/wmscatalog/request2.cgi?servicetype=arcims&groupbydomain=1`
This catalog lists many public ArcIMS Services known to MicroImages. Service availability may vary.

Web サイトや ArcIMS サービス名にカーソルを重ねると、データタイプに URL が表示されます。

ArcIMS サービスが選ばれると URL が自動的に入力され、ステータス行には ArcIMS サービス名が表示されます。また、[OK] ボタンがアクティブになって、< ArcIMS Service レイヤコントロール > ウィンドウが開きます。

`http://134.67.99.185/servlet/com.esri.esrimap.Esrimap?ServiceName=katrina&ClientVersion=9.0`

名前のフィールドにカーソルを重ねると URL がフルパスで表示されます。

[最近の閲覧] タブパネルには、最近閲覧した ArcIMS サービスが一覧表示されます。

`http://geography.network.com/servlet/com.esri.esrimap.Esrimap?ServiceName=ESRI_Temp_Yr&ClientVersion=9.0`

[最近の閲覧] パネル ArcIMS レイヤを表示すると、表示した ArcIMS が [最近の閲覧] パネルにある一覧に加わります (左下の図)。一覧には最近選択した ArcIMS サービスが 30 個まで表示されます。一度 ArcIMS レイヤを表示すると、他の ArcIMS レイヤを追加する際に初めに表示されるのは [カタログ] パネルではなく [最近の閲覧] パネルになります。このパネルで項目をクリックすると、選択した ArcIMS への要求を開始します。これは、[カタログ] パネルで説明している 2 回目の要求と同じです。応答を受信すると [OK] ボタンがアクティブになり、ArcIMS 中のレイヤ選択に進むことができます。一覧で ArcIMS 名の上にカーソルを置くと、その URL がデータタイプとして表示されます。

【お気に入り】パネル 【お気に入り】パネルには米国農務省 (USDA) の全米農業画像プログラム (NAIP) のサイトがデフォルトで表示されます。他のパネルで一度選択したサービスは、【お気に入り】タブの【お気に入り】に追加 (Add to Favorites) ボタンをクリックすると、【お気に入り】パネルに追加されます。【最近の閲覧】や【カタログ】、【検索 (Search)】パネルで ArcIMS を選択し、応答を受信して下のフィールドに URL が表示されるまで、【お気に入り】に追加 ボタンはアクティブになりません。このフィールドに URL を入力または貼り付け、[Enter] キーを押して要求を開始することもできます。ArcIMS サービスから応答を受信すると、【お気に入り】に追加 ボタンがアクティブになります。

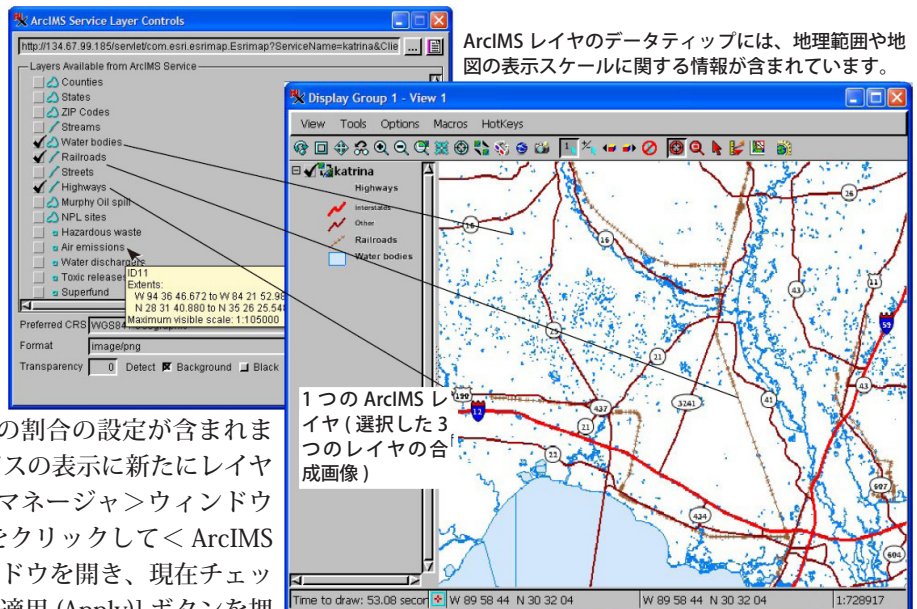


【検索】パネル 【検索】パネルについては、テクニカルガイド「空間表示：マイクロイメージ社の ArcIMS レイヤカタログの検索 (Spatial Display: Searching MicroImages' Catalog of ArcIMS Layers)」をご覧ください。

共通のフィールドとその機能 初めの 3 つのパネルおよび【検索の結果 (Search Result)】パネルの項目の上で右クリックすると、一覧からその項目を削除できます。選択ウィンドウの下にある URL とステータスフィールドは 4 つのタブ全てで共通です。また、【カタログ】や【最近の閲覧】、【検索の結果】パネルで選択した ArcIMS サービスは、サービスを再選択することなく【お気に入り】パネルのお気に入り】に追加されます。ArcIMS 一覧にカタログを追加したり、ArcIMS サービスの URL を直接ウィンドウの下に入力することもできます。どのパネルで ArcIMS サービスを選んでも、[OK] ボタンを押した後の手順は同じで、< ArcIMS Service レイヤコントロール>ウィンドウが開きます。

ArcIMS Service レイヤコントロール

< ArcIMS サービスの選択>ウィンドウで [OK] ボタンを押すと、< ArcIMS Service レイヤコントロール>ウィンドウが開きます。様々な表示オプションと共に選択した ArcIMS サービスで利用できるレイヤが一覧表示されます。これらの表示オプションには、どの色 (背景色、白、黒) を透明にするのかという設定や画像全体に使用する透明度の割合の設定が含まれます。既に指定している ArcIMS サービスの表示に新たにレイヤを追加したり変更するには、<表示マネージャ>ウィンドウで【レイヤコントロール】アイコンをクリックして< ArcIMS Service レイヤコントロール>ウィンドウを開き、現在チェックされているレイヤを変更します。【適用 (Apply)】ボタンを押せば、< ArcIMS Service レイヤコントロール>ウィンドウを閉じることなく変更を表示に反映できます。



<表示マネージャ>や<エディタレイヤマネージャ>ウィンドウで【Web レイヤの追加】アイコンをクリックして【ArcIMS】を選択すると、常に新しいレイヤとして追加されます。< ArcIMS Service レイヤコントロール>ウィンドウにおいて複数のレイヤを選択した場合、TNT 製品ではこれらのレイヤの合成画像が 1 つのレイヤとして表示されます (上図)。同じ ArcIMS に属するレイヤの表示を分けたい場合は、<表示マネージャ>の【Web レイヤの追加】ボタンを使って、別の ArcIMS レイヤとして追加しなければいけません。

